

令和 7 年度
運営に関する計画

目標設定



令和 7 年 4 月
大阪市立三津屋小学校

(様式 1)

大阪市立三津屋小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

定例の生活指導部会やアンケート等で、児童の実態把握に努め、課題の共有や改善を図り、また、組織的な対応も心がけ、児童の安心・安全な生活につなげた。その結果、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について『最も』と答えた児童の割合は、学力経年調査で 87.5 % と目標を上回ることができた。また、なかよし班（縦割り班）活動・集団登校などを実施し、異年齢児童が常に交流し、互いを思いやる心を育てるに努めた。その結果、児童アンケートにおいて、「縦割り活動で高学年にやさしくしてもらった（低学年にやさしく接した）」の肯定的評価は 95.1 %、「友達の良いところを見つけている」の肯定的評価は 87.4 %、いずれも目標を上回った。

不登校の課題は年々多様化・複雑化し、年度末の校内調査において不登校児童の在籍比率は昨年度より増加した。今年度は、毎月実施の生活指導連絡会でより一層情報共有するとともに、継続して学校組織全体で総力を挙げて課題解決を目指し取り組んでいく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話す活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」については肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合が 81 % と目標を上回る結果となった。

小学校学力経年調査における「国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。」については、算数科一学年のみ向上させることができた。目標を達成することはできなかつた。

小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対しての肯定的評価は 84.2 % であり、目標を上回った。

学校の年度目標では、校内調査における「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間におきている」と肯定的に回答する児童の割合は 69.5 % で目標は達成できなかつた。

【学びを支える教育環境の充実】

「『学習者用端末を活用することができる』」に肯定的に回答する割合が 92.6 % で目標を上回った。

学校閉学日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業以外の休業日については 1 日以上設定することができた。

学校の年度目標では、「一人一台学習者用端末を使って、意見を交流することができる」の肯定的評価は 78.5 % であり目標を達成することができた。

3 つの最重要目標のまとめとして、本年度は、個に応じた学習や基礎・基本の定着を目指した学習や授業実践に取り組んできた。

今後も個に応じた指導をより充実させ、基礎・基本の定着を図ることで学力下位層を向上させていく。そのために、朝学習の充実や家庭学習習慣の定着を図っていく。また、校内研修の充実と校外研修へのより積極的な参加を通して、各教員の指導力向上を目指す。

また、学年によって大きな差はあるものの、学校全体としては読書目標の達成率が大幅に増加した。(昨年度 41.2% から今年度 68.5%)

児童の生活面については、早寝が定着していない児童・保護者への個別の声掛けを続け家庭と連携し健康的な生活習慣の定着率を向上させたい。

2 年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88% 以上にする。
- 学校アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 88% 以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 91% 以上にする。
- 学校アンケートで「なかよし班活動で協力して（力を合わせて）楽しむことができた。」と答える児童の割合を 80% 以上にする。
- 学校アンケートで「友達の良いところを見つけている」という旨の回答の割合を 88% 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 42% 以上にする。
- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 65% 以上にする。
- 年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間におきていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 75% 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の82%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教員の割合を63%以上にする。

(1) 基準1 次のア及びイの基準を満たすこと

ア 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること

イ 1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること

- 学校アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

(様式2)

大阪市立三津屋小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○小学校学力経年調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。</p> <p>○学校アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。</p> <p>○学校アンケートで「なかよし班活動で協力して(力を合わせて)楽しむことができた。」と答える児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○学校アンケートで「友達の良いところを見つけている」という旨の回答の割合を88%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>全学級で学期に1回いじめアンケートを実施し、現状を把握し、早期対応ができるようになる。また、スクールライフノートの心の天気や相談機能でいつでも個別に対応ができるようになる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・学期に1回いじめアンケートを行う。・日頃の児童の様子を観察するとともに、スクールライフノート学校生活ウォッチャーで毎日1回以上確認する。	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>学級や学年だけでなく、教職員全員で学校全体の活動を通して、きまりを守る大切さを考えられるようにする。また、各学級の個別の課題に、学年、生徒指導部会、学校全体等の組織で対応するとともに、隔週の終礼、毎月のいじめ虐待対策委員会で、情報共有を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・三津屋の安心ルールや服装のきまりを配付し、家庭と連携する。・毎日の看護当番、毎週の全校朝会、毎月の生活目標を通して、きまりを守る大切さについて考えられるようにする。・月1回の生徒指導部会や毎週の終礼、毎月のいじめ虐待対策委員会で、課題の情報共有を行う。必要に応じて、関係諸機関と連携を図る。	

取組内容③【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】

学級だけでなく教育活動全体を通じて、認め合い、支え合う集団作りを実践する。

指標

- ・校内調査で「友達の良いところを見つけている」という旨の回答の割合を88%以上にする。

取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】

他者を敬う心を育成するため、児童が主体的に取り組む縦割り班活動を実践する。

指標

- ・学期に1回以上、児童が主体的に計画・運営する縦割り班活動を実施する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立三津屋小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 42 %以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 65 %以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間におきていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 75 %以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>日々の学習指導を中心に、児童が話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができていることを感じられるような授業づくりを進めていく。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 3 回の学校評価児童アンケートにおいて、「学級の友だちと話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」の項目で、最も肯定的な意見を 55 %にする。（昨年度 54 %） 	
<p>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業づくりの基礎・基本を重点に置いた授業力向上の取り組みを進めることで、授業力の底上げを図り、学力向上につなげる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりの基礎・基本を重点に置いた授業研究を、全員が年間 1 回以上行い、相互に指導・助言し合う。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「三津屋タイム」（朝の学習の時間）、「家庭学習の手引き」（保護者向け資料）を活用し、基礎的・基本的内容の定着と学力の底上げを図る。また、「自分の日」を実施することで学習意欲の向上を図る。</p>	

- ・すべての学級で、毎週2回、「三津屋タイム」に国語・算数を中心とした基礎的・基本的内容の繰返し学習を行う。
- ・すべての学級で、最初の懇談会の際に「家庭学習の手引き」を活用して自主学習習慣の定着について啓発をする。また、全学級で学期に1回以上、児童に対してその内容に基づく指導を行う。
- ・月に1回、「自分の日」を設定し、学習意欲の向上を図る。

取組内容④【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】

体力向上のための運動機会の設定や、場の設定をする。

指標

- ・年1回以上「ぐんぐんスポーツ」として、運動委員会を中心に、全校（各学級ごと）で運動する機会をもつ。
- ・教職員に向けた研修を年に6回以上行う。

取組内容⑤【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】

睡眠の重要性について、学校の指導、家庭への啓発を通して意識を高めるようする。

指標

- ・健康委員会を中心に、月に1回「キラキラチェック」を行う。
- ・年に1回、学校保健委員会による睡眠についての啓発を行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立三津屋小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 82 %以上にする。</p> <p>○第 2 期「学校園における働き方推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教員の割合を 63 %以上にする。</p> <p>(1) 基準 1 次のア及びイの基準を満たすこと</p> <p>ア 1か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えないようにすること</p> <p>イ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えないようにすること</p> <p>○学校アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65 %以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育DXの推進】</p> <p>朝学習の時間やスキマ時間、家庭学習において、デジタル教材や一人一台学習者用端末を活用した学習を実施する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材、または一人一台学習者用端末を活用した朝学習、スキマ時間学習、家庭学習を週 1 回以上実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 6、教育DXの推進】</p> <p>一人一台学習者用端末を活用した授業を実施し、ICT を用いた児童の意見の交流ができるようにする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台学習者用端末を活用した授業を学期に 1 回以上実施する。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教職員の働き方改革に関して勤務時間の最適化を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議等を設定しない「ゆとりの日」を設定する。 ・水曜日に会議を設定し、16 時半までに終了する。 ・学校閉庁日については、夏季休業期間中は 4 日以上、冬季休業期間中は 2 日以上設定する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向 8、生涯学習の支援】</p> <p>読書週間の「読書にチャレンジ」と読書記録カードを一体化し、自分の読書歴や読</p>	

書量を振り返ることができるようとする。それにより、普段の読書に対する意識・意欲を高め、習慣化を図る。また、読書量・読書傾向などを把握しやすくし、日々の読書指導に生かす。

指標

- ・全学年で、年間を通して、統一の読書記録カードを活用して読書指導を行い、読書目標達成率を昨年度（68%）以上にする。

取組内容⑤【基本的な方向8、生涯学習の支援】

読書週間の定着を図るため、「読書タイム」を実施するとともに、学期に1回、全校での「読書週間」を設定する。また、学校司書や地域ボランティアによる読み聞かせの機会を設けるとともに、その活動と連携し、読書への関心を高める。

指標

- ・すべての学級で、週1回、「読書タイム」を実施するとともに、学期に1回全校での「読書週間」、年1回「絵本展」を設定する。
- ・すべての学級で、隔月に1回以上、地域ボランティアの活動と関連させた読書活動を行う。
- ・すべての学級で、年1回以上、学校司書による読書指導や読み聞かせを行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点